



2010
夏号
No.61

発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411
URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



Contents

第59回通常総会開催	2～3
熊谷代表理事専務【就任のご挨拶】	3
第88回国際協同組合デー記念講演会	4
農商工連携等人材育成事業（研修）を開催	5～6
『みどりの110番』実績報告書	7

第59回 通常総会開催



杉本会長あいさつ

平成22年5月26日、徳島市「ホテル千秋閣」において徳島県森林組合連合会第59回通常総会が開催されました。

冒頭、杉本会長は、ご来賓の飯泉嘉門徳島県知事に対し、昨年「徳島県森林整備加速化・林業飛躍基金」を設立いただき、間伐等の森林整備の加速化及び間伐材等の森林資源を活用した林業飛躍を図るため実施する事業に対して、必要な経費を助成していただけることになり、会員を代表して感謝の意を述べるとともに、徳島県のオンリーワン林業施策である「林業飛躍プロジェクト」の推進につき、県のご指導を賜りながら系統一丸となり積極的に取り組んで行くことを表明しました。

また、国においては「森林・林業再生プラン」を公表し、今後10年間を目途に、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりを進めることにより、木材自給率を50%と定めたところであり、今後において森林組合系統は地域林業の担い手として一層の取り組みが期待されることから、会員の皆様方共々、全力で推進して参る旨の挨拶を行いました。

続いて優良森林組合並びに職員の表彰式が執り行われ、受賞者を代表して「板野郡森林組合 係長 大塚章弘氏」が謝辞を述べられました。その後、飯泉徳島県知事をはじめ、全国森林組合連合会・児島常務理事、農林中央金庫高松支店・西川農林水産環境事業部長よりご祝辞を賜りました。

また、総会終了後、山田前代表理事専務の退任に伴う理事1名の補欠選挙が行われ、熊谷幸三氏が選出されました。

なお、議事については議長に西副会長が選出され、提出10議案はすべて原案どおり可決承認されました。



飯泉知事ご祝辞



総会の様子



平成21年度優良森林組合並びに職員の表彰者（敬称略）

1. 優良森林組合の部

販売事業の部 美馬森林組合
 購買事業の部 木頭森林組合
 森林国営保険事業の部 徳島中央森林組合

2. 職員の部

三好東部森林組合 技師 阿佐尚和
 木頭森林組合 技師 山岡啓四郎
 板野郡森林組合 係長 大塚章弘
 海部森林組合 技師 谷脇克利



就任のご挨拶

徳島県森林組合連合会 代表理事専務 熊谷幸三

去る5月26日の本会通常総会において理事に当選し、6月1日開催の理事会において代表理事専務に選任されました熊谷でございます。山田前専務の後任として就任いたしました。その責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯でございます。前専務同様、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、国では現在、林業再生プランが議論されておりますが、本県では県の政策として平成17年度から全国に先駆けて林業再生プロジェクトを、そして平成20年度からは林業飛躍プロジェクトを進めています。このプロジェクトは搬出間伐において林内路網整備と高性能林業機械導入による生産性の向上に加え、県内の合板工場やMDF工場と連携し低質な木材をも利用することで、木材価格が低迷する中にも、組合員の皆さん方に少しでも多くの利益を還元しようとするものであります。さらに、このような経済活動を通じ森林整備を進め、地球温暖化防止対策や水源涵養など森林の持つ様々な役割の強化を図るものであります。

そして、このプロジェクトを着実に実行し、一定の成果を上げているのが私たち森林組合組織であり、地域林業の再生や森林整備の中核的な存在として組合員はじめ県民の皆様方からの評価や期待が高まってきているところです。しかしながら、今後とも、組合員の負託や県民の皆様方の期待に応え、これまで以上の成果を上げていくためには、森林組合内におきましても役員の皆様方のさらなる意識高揚や、職員の皆様方の企画立案能力の向上、そして現場作業員の皆様方のスキルアップが強く求められると同時に、森林組合そのものの経営体質強化も必要不可欠なものとなって参ります。そのために私自身、微力ではございますが林業飛躍プロジェクトや森林組合広域合併の推進など森林組合を取り巻く様々な課題に対し皆様方とともに汗を流す覚悟でございますので、皆様方の格別のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、今後とも会員の皆様方のご協力と、県はじめ関係機関のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第88回 「国際協同組合デー」記念講演会



【主催者】

徳島県農業協同組合中央会
徳島県漁業協同組合連合会
徳島県生活協同組合連合会
徳島県森林組合連合会

「国際協同組合デー」は、全世界の協同組合員が心をつなげて協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために運動の前進を誓いあう日で、毎年7月の第1土曜日と定められています。

県下協同組合では、この日を契機として協同組合運動の意義を確認し、協同組合間の提携、協力関係をより前進させるため、相集い民主的な運営の確立と協同組合運動の発展を期することを目的としています。

本年度は7月9日に徳島県漁業協同組合連合会のお世話のもと、講師に市村隆紀氏（社団法人全国豊かな海づくり推進協会・専務理事）による「身近に漁や農がある意味－協同の原点はどこにある－」というテーマで講演を行って頂きました。この講演では、日本の漁業の歴史・制度についてお話しいただき、協同組合の原点を振り返るとともに、今後の発展のため、地域との関わりがいかに重要であるかを再認識することができました。



平成22年7月9日（金）・徳島県水産会館

林退共は、林野庁がすすめる緑の雇用などによる新たな
林業の担い手の確保を応援しています。

林業退職金共済制度
林々とした若い力を

お問い合わせは
徳島県森林組合連合会（088-622-8158）まで



林退共本部ホームページ

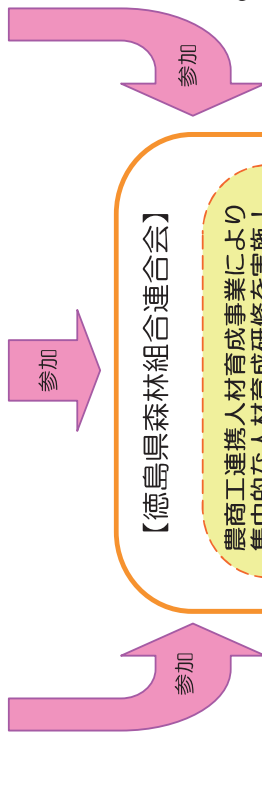
<http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp>

農商工連携等人材育成事業（研修）を開催
 ～連合会は、研修事業を通じて
 地域林業・木材産業の発展に貢献します。～

◇受講希望者は連合会まで連絡を！

研修事業のねらいと目標！

- 【建設業】
林業への参入を予定している会社！
- 【林業関係】
森林組合・林家・林業事業体！
- 【木材製造業】
国産材を挽く製材等！

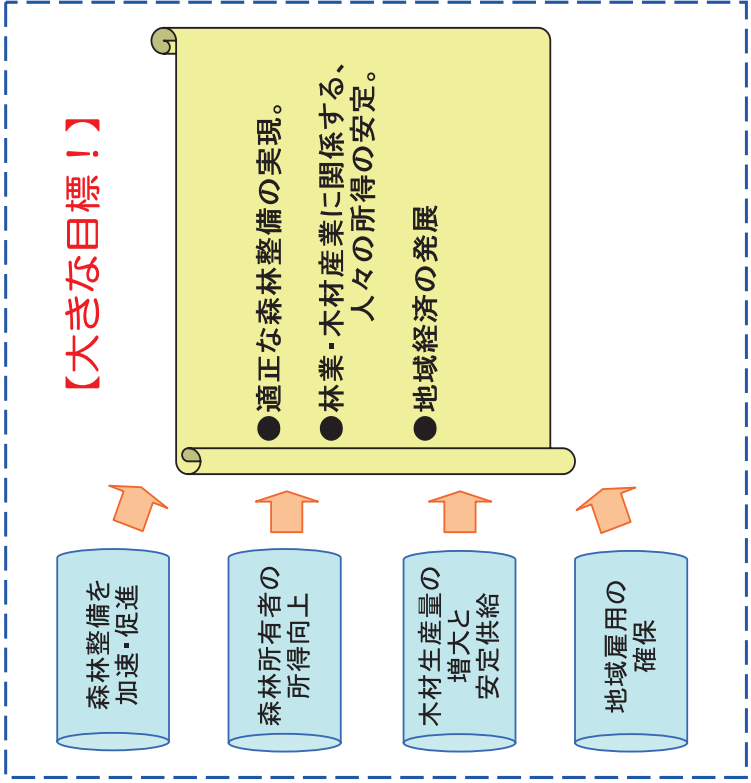
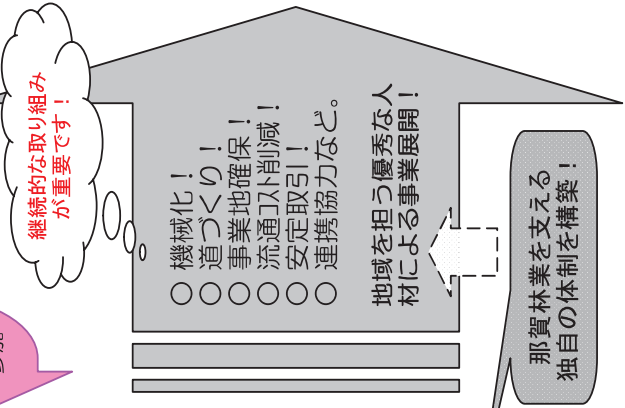


【徳島県森林組合連合会】

農商工連携人材育成事業により
集中的な人材育成研修を実施！

- 「技術習得研修」
間伐、作業道、木材搬出、視察研修など！
- 「連携強化対策」
木材生産や流通などに
関し連携協力！
- 研修事業のねらい！
①林業、製材技術の向上。
②相互に連携協力を促進。
③人材の発掘と養成。

林業・木材産業
インターネット
人材育成
委員会
研修計画や
受講生募集
などの検討



◆内容
連合会では、全国中小企業団体中央会が企画します「農商工連携等人材育成事業」の採択を受け、林業・木材産業等の連携強化対策や技術者を育成するなど、地域を牽引する優秀な人材を発掘・養成するための研修会を実施します。今回は、モデル的な取り組みとして那賀地域に限定して実施するもので、那賀川流域で活躍する林業・建設業・木材産業の方々の参加をお待ちしています！

◆研修参加対象者
那賀川流域で林業・木材製造業・建設業などに従事されている方！

◆研修内容
間伐・作業道開設・木材搬出・木材流通・製材などに関する講義や現地研修と
なっています。（別表「研修実施内容等」を参照ください！）

◆応募方法
徳島県森林組合連合会 総務課 担当：原原（じょうばら）までご連絡下さい。
 電話番号：088-622-8158 FAX番号：088-626-5411
<http://www.toku-forest.com/>

研修の実施内容等

研修実施日	研修科目		実施内容		研修区分			研修日・時間等 時間(分) 単位	
	必・任	研修科目	研修内容	大項目	小項目	研修名	室内		
8月19日(木)	必須	農商工連携の意義とねらい	林業・建設業・製材加工業による連携の必要性と研修のねらい	全体	連携とねらい	講義研修	室内	90	1
8月19日(木)	任意	林業の動向と課題及び農商工連携	那賀町における林業再生プランについて	全体	那賀町計画	講義研修	室内	90	1
8月19日(木)	任意	農商工連携を通じた木材産業の現状	製材業の現状と流通コスト削減及び農商工連携の必要性	製材	現状と木材流通	講義研修	室内	90	1
8月19日(木)	任意	提案型施業の計画	提案型施業と計画策定の必要性	集約化	施業提案	講義研修	室内	90	1
8月20日(金)	必須	ワークショップ	農商工連携による「森林を活かした地域づくり」について研修する	全体	ワークショップ	講義研修	室内	180	2
8月20日(金)	任意	境界確定作業	GPS測量と団地化の推進について	集約化	境界管理	講義研修	室内	90	1
8月20日(金)	任意	実施体制の構築	集約化への推進体制とプランニング	集約化	プランニング	講義研修	室内	90	1
8月27日(金)	任意	架線の基本設計	ワイヤープライスと安定計算	架線集材	ワイヤーと安全	講義研修	室内	90	1
8月27日(金)	任意	林産物流通の構造	効果的な採材方法や流通コストなどについて学ぶ	搬出	採材、流通	講義研修	室内	90	1
8月27日(金)	任意	中小企業経営	生産性や変動損益計算などを通じた管理方法を学ぶ	搬出	管理手法	講義研修	室内	180	2
9月2日(木)	必須	ワークショップ	農商工連携による「森林を活かした地域づくり」について研修する	全体	ワークショップ	講義研修	室内	180	2
9月2日(木)	任意	作業道路網計画	作業道の開設計画について学ぶ	作業道	作業道の計画	講義研修	室内	90	1
9月2日(木)	任意	実施体制の構築	集約化への推進体制とプランニング	集約化	プランニング	講義研修	室内	90	1
9月3日(金)	任意	作業道の開設技術	作業道開設の基礎を現場にて実践	作業道	作業道開設	実地研修	室外	360	2
9月6日(月)	任意	林業機械の構造・操作	チェーンソーの操作と手入れ等を実践	間伐	チェーンソー	実地研修	室外	180	1
9月6日(月)	任意	間伐の実践と応用	伐採を繰り返して実践し列状間伐等を習得する	間伐	伐採	実地研修	室外	180	1
9月7日(火)	任意	間伐の実践と応用	伐採を繰り返して実践し列状間伐等を習得する	間伐	伐採	実地研修	室外	360	2
9月8日(水)	任意	機械の適正な操作	スイングヤーダの操作と効率的な作業方法について学ぶ	搬出	機械操作と連携	実地研修	室外	360	2
9月9日(木)	任意	機械の適正な操作	プロセッサの操作と効率的な作業方法について学ぶ	搬出	機械操作と連携	実地研修	室外	360	2
9月10日(金)	任意	機械の適正な操作	フォワーダの操作と効率的な作業方法について学ぶ	搬出	機械操作と連携	実地研修	室外	360	2
9月22日(水)	任意	林業の労働安全	労働災害の発生状況から災害ゼロを目指す	労働安全	林業労働災害	講義研修	室内	180	2
9月22日(水)	任意	機械の構造と操作	タワヤーダの構造と操作	架線集材	機械操作	講義研修	室外	90	1
9月22日(水)	任意	架線集材の基本	索張り方法と集材装置の基本について	架線集材	集材機と索張り	講義研修	室内	90	1
10月15日(金)	必須	ワークショップ	農商工連携による「森林を活かした地域づくり」について研修する	全体	ワークショップ	講義研修	室内	180	2
10月15日(金)	任意	実施体制の構築	集約化への推進体制とプランニング	集約化	プランニング	講義研修	室内	180	2
10月22日(金)	任意	木材需要と動向	木材市場と製材を視察し、木材市況や需要動向について学ぶ	木材流通	木材市況と需要	実地研修	県外	360	2
11月8日(月) ～12月14日(火)	任意	架線集材の実務	タワヤーダによる実践作業	架線集材	機械操作	実地研修	室外	9,360	52
11月5日(金)	必須	ワークショップ	農商工連携による「森林を活かした地域づくり」について研修する	全体	ワークショップ	講義研修	室内	180	2
11月5日(金)	任意	実施体制の構築	集約化への推進体制とプランニング	集約化	プランニング	講義研修	室内	180	2
計								14,400	94

● ● ● みどりの110番 ● ● ●

◇樹木医による無料緑化相談◇

「みどりの110番」では徳島県森林組合連合会の所属員及びその組合員並びに会員外に対し、本会に、徳島県樹木医会の先生が常駐し、電話・FAX・窓口対応の方法により、無料の緑化相談、技術指導を行っています。

- ・庭木の管理・樹木の病気・樹木の害虫・樹木の育成環境・森林の整備方法など
(有料の出張診断、治療、病虫害防除等も行っております。)

〈平成21年度相談状況〉

月	相談等件数	地域別		相談区分			調査依頼	その他依頼等
		県外	県内	TEL	FAX	来所		
4	22		22	13	1	8	1	
5	18		18	10	1	7	5	
6	38	1	37	24		14	2	
7	15		15	8		7	3	1
8	14		14	6		8	1	
9	18	1	17	10		8		1
10	35		35	12		23	1	1
11	13		13	5		8	1	
12	19		19	11		8		
1	12	1	11	8		4		1
2	15		15	10	1	4		
3	17		17	5		12	1	1
計	236	3	233	122	3	111	15	5

(相談内容)

年間の相談件数は236件で、平成20年度実績より1件少なかったが、依然として、県民の「みどりの110番」に対する要望は大きいものがある。

地域別では、県外3件、県内233件と県内が大部分であった。また相談区分では、電話相談が122件と最も多く、次いで来所件数が111件となり、昨年度実績に比べて5件増加した。なお調査依頼件数は15件、その他の依頼件数は5件と、昨年度より減少しているが、「みどりの110番」を通さずに、直接樹木医に、現地調査等を依頼したものが多かったためである。

相談内容の内訳は、次のとおりであり、昨年度実績に比べて「その他の(事務連絡を含む)相談件数」が10%増加し、「庭木の病虫害等の相談件数」が10%減少しているが、近年、相談内容が複雑化するとともに、県内で「みどりの110番」の存在が知られて来たため「事務連絡」の件数が増加した事等が原因と思われる。

庭木の保育管理等の相談件数	70件	30% (昨年度28%)
庭木の病虫害等の相談件数	55件	23% (// 33%)
緑化樹の増殖等についての相談件数	5件	2% (// 4%)
その他の(事務連絡を含む)相談件数	106件	45% (// 35%)

【相談受付時間】

月曜日から金曜日までの午前10時から午後4時まで

(土・日・祝日・年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)を除きます。)

お気軽にお問い合わせ下さい。

(088)652-4110

(TEL・FAX兼用)



徳島県樹木医会 日本樹木医会会員

〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地
林業センタービル1F(徳島県森林組合連合会内)



ご存知ですか。 今も続いている 同和問題。

同和問題＝人権侵害とは、なに？

今から400年ほど前、全国統一を果たした江戸幕府は体制維持のため「士・農・工・商」の身分制度を定め、その下に「えた、ひにん」という身分を設けました。大多数にとって厳しく不満の絶えない暮らしにあって、幕府は「自分たちよりひどい暮らしの人間もいるのだ」と仕向けることで不満をそらそうとしました。そのような人達が強制的に住まわされたところを被差別部落、また同和地区と言います。ここに同和問題のはじまりがあるとされています。

こんな差別がまだ残っています。

結婚にみられる差別

結婚は男女ふたりの意志のみによるもの。しかし実際には、縁談の相手の身元を調べたり、子供の結婚相手が同和地区の人とわかると反対するなど、同和地区の人々に対する結婚差別が残っています。

就職にかかわる差別

採用は、本人の仕事への適性や能力のみで決められるべきもの。しかし本籍地や家族の職業などを履歴書に書かせたり、面接の際に聞いたりして採否を決めるなど、同和地区の人々に対する就職差別が残っています。

**全国森林組合連合会
人権問題啓発推進事業**